



食と農
をつなぐ
アワード
2025

食から日本を考える。
NIPPON
FOOD
SHIFT



大臣官房長賞

部門
02

食品アクセスの確保

株式会社とくし丸

食品アクセス・買物支援を街のインフラへ！地元スーパーの商品を地元高齢者に！
「移動スーパーが家までくる」安心感と買物の楽しさをお届け～見守り活動も実現～



地元スーパーと契約を締結し、スーパーが募集した「販売パートナー」（ドライバー兼販売員）が、軽トラックに約 400 品目 1200 点の青果・精肉・鮮魚・惣菜・日用品を積み、買物困難者の自宅前まで販売を行う。

概要

- 高齡化、既存商店の衰退や過疎化等により日々の買物に困難が生じる買物困難者が全国に増加していることから、住み慣れた地を離れることなく安心して生活できる「インフラ」としての買物支援を提供している。現在は 47 都道府県で約 1200 台の移動スーパー車両が稼働中。
- 各自治体と協定を締結し、地域社会と連携し事業活動を行っている。約週 2 回の訪問時には、販売パートナーが高齢者の見守りも行っており、異変があれば自治体・福祉機関・警察等と連携している。

基本情報

事業開始年度：2012 年

活動年数：13 年

活動地域：徳島県（全国へ展開中）

成果

- 地元スーパーを拠点としているため、過疎地域や山間部等、買物支援を必要としている地域の課題（商圈の縮小・人口減・高齡化等）を解決し、地域活性化・雇用創出効果にもつながっている。
- 自分で食べたいもの・ほしいものを自分の目と手で選ぶことができるため、認知症予防やリハビリに役立っている。また、移動スーパーが到着すると、近隣の住民も集まってくるため、住民同士のコミュニケーションに花が咲き、コミュニティの形成・維持に寄与している。

審査委員からのコメント

物理的アクセスの事業として先駆的であり、また福祉との連動をしているところは非常に高評価。販売ドライバーなどの雇用も生み、収益性がありつつ地域の課題を解決するよいモデル。